

平成30年1月11日（総18第01号）
在デンパサール日本国総領事館

1 アグン山の状況

インドネシア火山地質災害対策局（PVMBG）は、1月4日、アグン山の避難区域を山頂から半径8km（北～北東、南東～南～南西部では10km）としていたものを半径6kmに縮小したと発表しました。なお警戒レベルはレベル4（危険）が継続されています。アグン山では昨年11月以降、小規模な噴火が繰り返し発生しており引き続き注視が必要です。関連最新情報の入手に努め、注意警戒してください。

2 治安情勢（テロ関連情報）

元日未明、南スラウェシ州マカッサル市の警察署に対して爆発物による襲撃事件が発生する等、国内各地ではテロの疑いのある動きがみられており、治安当局は警戒を強化しています。

現時点で当館管轄内において具体的な脅威情報があるわけではありませんが、テロはどこでも発生する可能性があります。引き続き最新の治安情勢等の関連情報を入手し、日頃から危機管理意識を高く持つよう努め、テロの標的となりやすい場所（政府・警察関係施設、宗教関連施設、ナイトクラブなど多くの欧米人が集まる場所、ショッピングモール等不特定多数が集まる場所等）を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。

3 一般情勢

（1）大雨・強風・高波の警報

最近の天候不順により、当地気象庁から大雨・強風・高波の警報が発出されています。海や山でのレジャーの際には天候の急変等に十分注意して下さい。また、市街地・山間部においては、倒木・土砂崩れ・洪水などの危険がありますので気を付けて下さい。

（2）デング熱

当地では一般的に雨季に入るとデング熱の罹患者が増えると言われており注意が必要です。デング熱には予防接種も予防薬もなく、蚊に刺されないようにすることが最善の予防方法ですので、防蚊対策を徹底し感染の予防に努めてください。なお、仮にデング熱が疑われる症状が発生した場合には、早期に医療機関を受診し、適切な治療を受けるようにしてください。

（3）麻薬・薬物への注意

バリ州各地において、インドネシア人、外国人を問わず麻薬・薬物関連の逮捕事案が続いています。当地でもナイトクラブ等に対する強制捜査が行われる等、当局による薬物犯罪対策により多数の検挙者が出ています。当地裁判所は、外国人に対しても死刑を含む重い判決を下すなど薬物事犯に対して厳しい姿勢で臨んでいます。薬物が蔓延しているような危険な場所には近寄らないことをお奨めします。

(4) バリ州知事選挙

1月8日からバリ州知事選挙の候補者の受付が開始され、6月27日の投票日まで選挙期間となります。選挙期間中は、候補者（政党）によるキャンペーン等が行われ、各地で集会やそれに伴う交通渋滞等の可能性がありますのでご注意ください。

4 邦人事件・事故関係

(1) スリ・ひったくり

今月は当館に邦人の被害報告はありませんが、引き続き夜間の繁華街で外国人を狙ったスリ・ひったくりが多発しています。貴重品は出来るだけ持ち歩かない等、所持品の管理に注意し、徒歩での移動の場合には周囲に十分警戒してください。

(2) スキミングに注意

スキミング被害の報告が増えています。ATMは銀行店舗内や警備員の常駐している等安全性の高いATMを利用するようにしてください。特に最近、国際キャッシュカードが被害に遭うケースが多く報告されています。日本国内の銀行口座から現金を引き出す場合、その取引を事後確認するには往々にして時間がかかり、被害を気づきにくいという点があげられます。利用明細を頻繁に確認するとともに、口座内の金額を少なくしておく等の予防策もご検討ください。

(3) 海外傷害保険に加入を

最近、旅行者が不慮の事故等で負傷し、また在留邦人が疾病治療のために、多額の医療費の支払いを余儀なくされるケースが続発しました。クレジットカード付帯の保険は、補償内容や条件で必ずしも十分な補償を得られない場合があります。万一に備え十分な補償の得られる海外傷害保険等に加入することをお勧めします。

5 その他

冬の海外安全強化月間

外務省では、12月20日から1月21日を「冬の海外安全強化月間」として、海外に渡航する皆様により一層の安全対策を呼びかけています。詳しくは次のHPをご覧ください。

外務省領事局 海外邦人安全課 Facebook ページ【冬の海外安全強化月間キャンペーン】

<https://www.facebook.com/373709449654909/photos/a.379124365780084.1073741828.373709449654909/529830670709452/?type=3&theater>

以上